



人類に
奉仕する
ローター



守口ロータークラブ 週報 No. 11



経済と地域社会の発展月間
米 山 月 間

2016~17・RIテーマ

本日のピアノ演奏

1. ラスト・タンゴ・イン・パリ 2. 麦の唄 3. レット・イット・ビー

本日例会 2016年10月05日(水)
(第2688回)

「米山奨学事業の現状と
新しい流れ」
地区米山奨学委員長 古城 紀雄 様
担当：米山奨学委員会

次回例会 2016年10月12日(水)
(第2689回)

「調整中」
担当：親睦活動委員会

出席報告

例会日	出席	欠席	出席率
09月28日	28 (内免除者2名)	12	70.00%【会員42名】
09月07日	29 (内免除者1名)		メイクアップ2名 (70.73%)



水谷 出席・プログラム委員長

前回例会 (2687回) 09/28 の主な内容

◎ゲストご紹介

出田 和博様 (篠崎会員のお客様)
遠島 光顕様 (守口RAC)



◎幹事報告 (幹事 石谷 隆子)

- 1、クールビズは終わります。10月からはネクタイ着用をお願い致します。
- 2、2016~17年度地区大会の出欠表を事務局までお願い致します。
- 3、2016~17年度会員名簿をメールBOXに入れております。



◆◆◆委員会報告◆◆◆

○親睦活動委員会 (上田副委員長)

9月23日(金) 家庭集會ご参加有難うございました。

◆◆◆委員会だより◆◆◆

○社会奉仕委員会

日時：9月28日(水) 11:30~
場所：「事務局」出席：11名



ニコニコBOX S・A・A

博多 会員 シンポジウム宜しくお願いします。

三浦均会員 } 篠崎社会奉仕委員長本日の卓話
松尾 会員 } 有難うございます。

菊田 会員 一寸、目出度い事がありました。
石井 会員 大相撲秋場所で大関 豪栄道が全勝での初優勝を喜んで。

篠崎 会員 本日、卓話を担当させていただきます。
廣瀬 会員 長期欠席しました。

9/28ニコニコBOX 335,000円

■ 会 長：三 浦 均
■ 幹 事：石 谷 隆 子
■ 広報雑誌・会報委員長：他 谷 勝
URL：http://www.moriguchi-rc.jp/

■ 例 会 場：ホテル・アゴーラ大阪守口 守口市河原町10-5
TEL (06) 6994-1111 (代表) 〒570-0038
■ 事 務 所：守口市河原町10-5 ホテル・アゴーラ大阪守口5F 〒570-0038
TEL (06) 6994-0010 FAX (06) 6994-0009
■ メールアドレス：info@moriguchi-rc.jp
■ 例 会 日：毎週水曜日 12時30分~13時30分

◎会長の時間 (会長 三浦 均)

卓 話

社会奉仕委員長 篠崎 満伸



「トルコ軍艦エルトゥールル号
遭難事件」

1985年3月17日、イラン・イラク戦争が続く中、サダム・フセインは「今から48時間後に、イラクの上空を飛ぶ飛行機を打ち落とす」と世界に発信した。慌ててテヘラン空港に殺到したイラク在住の外国人の中に日本人もいたが、どの飛行機も満席で乗れず、216人が取り残された。各国は自国民を救出するため救援機を出したが日本政府の対応は遅れ、空港にいた日本人は窮地に陥った。

そこに2機のトルコ航空の飛行機が到着し、日本人全員を乗せてトルコに飛び立った。タイムリミットの1時間15分前だった。なぜ、トルコ航空機が来てくれたのか?しかも、この時、まだ約600人のトルコ人も取り残されていたにも関わらず、女性と子どもだけ飛行機に乗せ、男性は陸路を車で脱出することに皆同意したという。日本政府もマスコミも不思議に思った。

が、後に、駐日トルコ大使ネジアティ・ウトカン氏は「ルトゥールル号の事故を今もトルコの人たちは忘れていません。」と語った。

明治22年(1889年)、オスマン帝国(現トルコ)皇帝アブデュル・ハミット二世はオスマン・パシャ特派大使海軍少将を特派使節として日本に派遣した。巡洋艦エルトゥールル号に650人余が乗り組み、翌年6月横浜港に到着し、国賓として歓迎を受けたのち、9月14日にイスタンブールへの帰路に就いた。ところが、熊野灘に差し掛かった9月16日、台風に遭遇し、岩礁に乗り上げて沈没してしまっ。少将以下580人余が遭難、69人が地元住民に救助された。

大島村檜野地区は60戸ほどの貧しい漁村だったが、総出で救助に当たり、乏しい食料を差し出して献身的に介抱した。また、生存者は病院に搬送され、日本海軍によって本国に搬送された。地元民はその後も捜索を続け、216人を丁寧に埋葬し追悼碑を建てた。トルコでは今もこのことを歴史の教科書で学んでいる。

その後も1999年のトルコ北西部の大地震には日本は世界に先駆けて国際緊急援助隊を派遣し、2011年の東日本大震災の時は原発事故の深刻さが明らかになる中、トルコの派遣隊は最後まで残ってくれた。二国間には感動が感動を呼ぶドラマが生まれ、信頼が積み上げられてきた。

日本人の「やさしさ・思いやる心」とトルコ人の「素直な感謝の心」は尊い教訓となっている。誠実に真っ直ぐに生きてきた日本人の『真心』が日本を支え、世界から高く評価されるものと考えられる。

「自殺防止最前線シンポジウム概略」

日 時: 2016年10月15日(土) 開演13:00~15:30 (開場12:30)

場 所: 守口文化センター(エナジーホール)

京阪電車 守口市駅南歩1分

主 催: 守口ロータリークラブ

対 象: 守口市民を中心に450席

テーマ: 自殺防止

長年自殺防止活動の第一線で成果を上げてこられたエキスパートを全国からお招きし、人の再生に寄り添う活動の真髄を伺う。

今後の、官民連携してのよりきめ細かく徹底した対応の可能性を探る。

形 式: 基調講演とパネルディスカッション

演 者: 基調講演 藤敷 庸一 NPO法人 白浜レスキューネットワーク

禮久 孝一 元鹿児島県奄美市役所職員

佐藤 久男 NPO法人 あきた自殺防止センター蜘蛛の糸

茂 幸雄 NPO法人「心に響く文集・編集局」

弘中 輝美 NPO法人 多重債務による自殺者をなくす会

コアセンターコスモス

高岡 武 社会福祉法人 守口社会福祉協議会

式次第

- 12:30 開場
- 13:00 開会の言葉・司会 守口ロータリークラブ会員 博多 尚文
- 主催者代表挨拶 守口ロータリークラブ会長 三浦 均
- 来賓挨拶 守口市長 西端 勝樹
- 守口市教育長 首藤 修一
- 13:20 後援団体ご紹介 司会 博多尚文
- 守口市における自殺防止対策の現状報告
- 守口市保健センター 西尾 優子 小松 友子
- 13:30 基調講演 藤敷 庸一
- 14:00 パネラー活動報告(一人15分)
- 佐藤 久男、茂 幸雄、弘中 照美、禮久 孝一、高岡 武
- 15:15 ディスカッション
- 15:30 閉会の言葉 大会実行委員長 篠崎 満伸



運 営 組 織 表	
司会進行	○博多
一般受付	○石橋、水谷、神田、廣瀬
来賓受付	○石谷、川村
来賓対応	○岡本、正木、江端、市橋、三宅
控室への案内 来賓席への案内 後援団体 招待者	
講演者、パネラー控室への案内	○竹嶋、松尾
来賓、パネラー対応(控室)	○大野、岩宮
場内案内誘導	○白井、吉川、佐々岡、上田、前川、松本、平沼、石津
映像、音響	○井上、佃
広報・写真・マスコミ・対応	○菊田、中道、他谷
救護	○菅野、博多
舞台対応	○橋本、村田
動員担当	○辻村、三浦均、松尾、篠崎
シンポジウム本部付役員	○三浦俊、西原、石井、中島、深田、佐治、宮内
集合時間 11時30分 文化センターロビー	
服 装 守口ロータリークラブジャンパーでネクタイ着用	
場内案内誘導者は、開会中、万々に備え、非常出口前に配置	